

index

2022 (第28号)

- 医師連盟委員長挨拶
- 兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項
- 第26回参議院議員選挙結果
- 議員対談 衆議院議員 西村康稔氏
- 自民党兵庫県連各種友好団体との政策要望に係る意見交換会
- 都市医師連盟だより(尼崎市医師連盟)

兵庫県医師連盟ニュース



発行所 兵庫県医師連盟
 〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11
 Tel 078-265-2328
<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>
 編集責任者 八田 昌樹

医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
 委員長 八田 昌樹

員・県会議員を支援することで、政策立案、行政施策等に我々の意見を反映させることです。また、県民に

兵庫県医師連盟委員長に就任しました八田昌樹です。兵庫県医師連盟委員の皆様には、日頃から医師連盟の活動にご協力頂きまして誠にありがとうございます。医師会と医師連盟はコインの表裏のように表裏一体の組織です。医師会是一般社団法人であるために政治活動が禁止されています。そこで、医師会員が医療政策や行政への要望を述べる権利を守るために医師連盟が設立されているのです。

兵庫県医師連盟は、医師の医療・福祉に係る施策の発展向上に資するために、そして、世界に冠たる国民皆保険という医療保険制度を堅持するために、国・県政に直接的な働きかけを行う政治活動を展開しています。具体的には、保健・医療・福祉等の社会保障施策に対して提言を行い、我々の活動を理解し、社会保障制度の諸問題に積極的に取り組んでいる国会議

兵庫県医師連盟役員紹介

(令和4年6月19日～令和6年6月)
 連盟定時委員総会終了日

委員長	
八田 昌樹	
副委員長 (3名)	
鈴木 克司	
橋本 寛	
岡林 孝直	
常任執行委員 (9名)	
西口 郁	
杉原 加壽子	
三浦 一樹	
坂本 泰三	
大門 美智子	
山根 光量	
藤田 宏史	
瓦井 博子	
片山 啓	
執行委員 (17名)	
平林 弘久	
中本 博士	
野々垣 真佐史	
尾崎 公彦	
中川 勝央	
北垣 幸子	
相馬 葉樹	
林 伸啓	
福田 能喜	
大江 与喜子	
東 靖人	
杉本 貴景	
久保 清久	
清成 則生	
田中 庸弥	
寺下 一太郎	
鈴木 光太郎	
会計責任者	
山根 光量	
会計責任者職務代行者	
三浦 一樹	
会計監督者 (3名)	
井上 喜通	
横山 英世	
近藤 誠宏	
委員	
県医代議員・郡市区医師会長	

また、県民に
 員・県会議員を支援することで、政策立案、行政施策等に我々の意見を反映させることです。また、県民に
 に対して医療提供体制や社会保障のあるべき姿について理解を深めてもらうための啓発活動を行っています。
 さて、令和4年7月10日に第26回参議院議員選挙が行われました。比例代表では、日本医師連盟の組織内候補で自民党現職の自見はなこ氏が213,369票を獲得し、再選を果たしました。この得票数は、前回6年前の得票数を2,807票上回るだけでなく、自民党内の厚生労働関係当選者の中でトップであり、全体でも党内8位となりました。得票数は組織の発言力

に直結するとされており、2024年度に控えたトリプル改定(診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬)など医療分野の課題が山積している中で存在感を示すことができ、日本医師連盟としても心強い限りです。今回の参議院選挙に当たっては、日本医師連盟の下に各都道府県医師連盟及び各都市医師連盟が全力で選挙活動を展開しました。兵庫県医師連盟もサポーター名簿、葉書、ポスター等、都市医師連盟の協力を得て

選挙活動を展開し、得票数は6,302票で前回よりも1,477票上回り、A1会員1人当たりの得票数も1・39票と増加しました。また、兵庫選挙区では兵庫県医師連盟推薦の末松信介氏が約56万票を獲得して4回目の当選を果たされました。お忙しい中、各地区で選挙カーと共に応援演説をしていただいた医師連盟委員の先生方をはじめ、ご協力いただいた都市医師連盟委員の皆様、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。



自見はなこ応援演説 (大丸前)



自見はなこ 総決起大会

上げます。
 兵庫県医師連盟の活動は、連盟委員の医師が安心して誇りをもちて診療できる環境を保持することであり、それは県民に安心安全な医療・介護を提供することも繋がっています。兵庫

県医師連盟は、国民皆保険制度を堅持し、将来を見据えた社会保障制度の確立を目指して、今後も連盟活動を展開していく所存ですので、引き続きご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項

(1) 4月17日(日)にホテルオークラ神戸で開催し、「令和4年度事業計画」、「令和4年度予算」、及び「令和4年度会費賦課徴収」の3議案について、原案通り可決されました。

(令和4年度事業計画)

医師の政治力強化を図り、もって「国民皆保険制度の堅持」、「地域保健医療活動の強化」、「平等で安全な医療提供体制の確保」並びに「医療経営基盤の確立」等各種施策の実現のため政治活動を展開する。

一. 政治活動

- ① 県下首長・議員に対してのロビー活動展開。
- 1) 県選出国會議員はマンツーマン方式による。
- 2) 都市区医師連盟における地方自治体首長、選挙区県議會議員、市町議會議員へのロビー活動に対する支援。
- ② 兵庫県議會議員との医療政策に関する意見交換会の開催。(医療政策勉強会等の開催)
- ③ 兵庫県議会各派系に対する医療政策実現化に向けての県予算化要望。
- ④ 兵庫県議会自由民主党保健医療推進議員連盟との連携強化。

⑤ 選挙活動の展開
第26回参議院議員選挙における日医師連推薦候補者(自見はなこ氏)の選挙支援活動を強力に展開する。

二. 広報活動

県民並びに関係団体に対して、強く医師連盟の理念と医療政策を訴え、理解を得よう努め、広く県民等を巻き込んだ世論の形成を目指す。

- ① フォーラム等県民並びに関係団体等参加の集会開催。
- ② 医師連盟ニュースの企画・編集、定期発行並びに関係団体への配布。
- ③ 医師連盟ホームページの紙面の充実。

三. 対内活動

医師連盟会員への医療政策の啓発とそれを実現させる為の政治活動への参画意識の昂揚を図る。

- ① 医師連盟若手会員の育成。
- ② 医療政策を政治に反映させる方策の検討。

四. 各関係団体との連携強化

関係団体との強固な連携のもと、医療施策の実現化の為に政治活動を展開する。

- ① 日本医師連盟との連携

- ② 近畿各府県医師連盟(医師政治連盟)との連携
- ③ 兵庫県歯科医師連盟、兵庫県薬剤師連盟との連携
- ④ その他の関係団体との連携
- (2) 6月19日(日)に兵庫県医師会館で開催し、令和3年度事業報告を報告、了承され、次いで「令和3年度収支決算」、「本連盟顧問・参与委嘱」について原案通り可決されました。

第26回 参議院議員選挙結果



自見はなこ氏の都道府県別得票数

(都道府県別)	「自見はなこ」得票数	A①会員	会員1人当たり得票数
北海道	4,707	2,146	2.19
青森県	1,180	635	1.86
岩手県	2,322	676	3.43
宮城県	3,344	1,455	2.30
秋田県	1,756	580	3.03
山形県	1,593	660	2.41
福島県	2,276	1,184	1.92
茨城県	4,264	1,369	3.11
栃木県	2,647	1,147	2.31
群馬県	6,591	1,276	5.17
埼玉県	7,472	3,549	2.11
千葉県	4,432	2,932	1.51
東京都	23,660	10,069	2.35
神奈川県	10,528	5,569	1.89
新潟県	1,775	1,212	1.46
富山県	1,724	675	2.55
石川県	2,931	697	4.21
福井県	1,722	443	3.89
山梨県	1,674	530	3.16
長野県	1,996	1,207	1.65
岐阜県	5,127	1,289	3.98
静岡県	5,407	2,274	2.38
愛知県	9,716	4,680	2.08
三重県	1,905	1,156	1.65
滋賀県	1,272	846	1.50
京都府	3,091	2,124	1.46
大阪府	8,248	7,450	1.11
兵庫県	6,302	4,521	1.39
奈良県	2,670	1,016	2.63
和歌山県	1,128	882	1.28
鳥取県	1,372	382	3.59
徳島県	1,010	457	2.21
岡山県	3,959	1,318	3.00
広島県	3,134	2,236	1.40
山口県	2,754	1,045	2.64
香川県	1,059	617	1.72
愛媛県	1,287	711	1.81
高知県	2,039	999	2.04
福岡県	1,085	465	2.33
佐賀県	34,399	3,894	8.83
長門県	2,906	631	4.61
山口県	5,127	1,110	4.62
徳島県	6,353	1,299	4.89
香川県	3,604	867	4.16
愛媛県	2,574	774	3.33
高知県	5,449	1,137	4.79
福岡県	1,798	755	2.38
総計	213,369	82,946	2.57

自見はなこ氏の県下郡市区別得票数

(県下郡市区別)	「自見はなこ」得票数	A①会員	会員1人当たり得票数
神戸市	1,957	1,392	1.41
戸塚区	580	196	2.96
東灘区	217	156	1.39
中央区	214	227	0.94
中兵庫区	80	106	0.75
北長須垂区	194	153	1.27
長須垂区	53	97	0.55
須磨区	170	128	1.33
須磨区	201	160	1.26
西須磨区	248	169	1.47
伊川谷市	347	448	0.77
西宮市	174	170	1.02
西宮市	156	130	1.20
西宮市	273	187	1.46
西宮市	889	463	1.92
西宮市	330	106	3.11
西宮市	371	231	1.61
西宮市	47	59	0.80
西宮市	96	65	1.48
西宮市	32	28	1.14
西宮市	52	41	1.27
西宮市	249	210	1.19
西宮市	70	63	1.11
西宮市	596	368	1.62
西宮市	19	27	0.70
西宮市	128	62	2.06
西宮市	25	17	1.47
西宮市	47	37	1.27
西宮市	12	7	1.71
西宮市	17	14	1.21
西宮市	43	22	1.95
西宮市	23	25	0.92
西宮市	11	16	0.69
西宮市	68	63	1.08
西宮市	18	14	1.29
西宮市	92	79	1.16
西宮市	21	26	0.81
西宮市	38	39	0.97
西宮市	44	40	1.10
西宮市	24	37	0.65
西宮市	33	33	1.00
合計	6,302	4,519	1.39

兵庫選挙区当選者の市町別得票数

	日本維新の会 片山 大介	自由民主党 末松 信介	公明党 伊藤たかえ
神戸市	179,892	154,674	115,262
神戸市	30,021	22,518	12,811
神戸市	17,435	13,888	8,610
神戸市	16,425	12,478	8,285
神戸市	10,759	8,757	10,447
神戸市	23,899	20,240	20,389
神戸市	9,023	6,833	9,599
神戸市	19,931	16,951	12,599
神戸市	24,285	26,025	16,162
神戸市	28,114	26,984	16,360
阪神三田	51,951	29,067	51,996
阪神三田	67,116	47,955	33,584
阪神三田	15,103	11,663	6,032
阪神三田	22,094	18,673	16,248
阪神三田	33,636	22,897	15,718
阪神三田	23,003	15,700	12,954
阪神三田	16,626	12,044	8,397
阪神三田	4,932	3,081	2,551
東北播磨	34,029	31,283	24,070
東北播磨	27,274	25,450	22,274
東北播磨	9,571	8,994	8,700
東北播磨	3,531	3,511	2,612
東北播磨	3,833	3,078	2,670
東北播磨	4,135	5,265	3,522
東北播磨	8,538	9,389	6,447
東北播磨	4,971	5,544	4,479
東北播磨	4,695	5,503	3,482
東北播磨	4,294	4,845	3,055
東北播磨	2,243	3,071	1,654
西播磨	55,723	50,255	43,873
西播磨	3,298	3,669	2,633
西播磨	7,455	9,668	6,340
西播磨	5,103	5,266	3,969
西播磨	4,206	4,168	4,368
西播磨	1,490	2,174	1,083
西播磨	1,683	1,378	1,651
西播磨	2,161	2,311	1,560
西播磨	3,950	3,703	2,735
西播磨	2,181	2,373	1,719
西播磨	1,897	2,264	1,808
但馬	8,483	11,642	6,785
但馬	2,462	3,726	2,182
但馬	3,320	4,097	2,812
但馬	1,505	3,321	1,599
但馬	1,321	2,610	1,604
丹波	4,902	4,640	3,684
丹波	7,263	7,174	5,691
淡路	4,044	4,938	4,223
淡路	4,176	6,008	4,914
淡路	4,294	5,781	4,022
合計	652,384	562,853	454,962



ストレスで湿疹が！

橋本常任執行委員(以下 橋本)

最初は2019年の9月に経済再生担当大臣に任命されて、その後コロナが発生して、新型コロナ担当大臣という話は安倍首相から直接ですか？

西村衆議院議員(以下 西村)

そうです。2020年3月6日に担当大臣になったのですが、その2日前の4日に電話をもらいました。それで、新型コロナの担当大臣に。正確に言うと、その時点では例の新型インフルエンザ等対策特別措置法、対象に新型コロナを入れる法律改正を担当してほしいと。

橋本 法律改正の担当ですか。

西村 閣内で私が適任ということで判断をされたのだと思いますが、その翌週に衆参で法律改

のわずかな経験を踏まえてこの法律ができて、4月7日に緊急事態宣言を発出するところもやっていくわけで、結局全体を見ることになっていったということですね。

橋本 西村代議士が感染症と経済。最初から考えて任命されたのかなと思ったのですが、そうでもない。

西村 はい、最初はやはり法律の運用というところから始まったと思います。ただ、結果的にはですね。世界では感染症対策、コロナ対策と経済の両方見ている大臣、閣僚というのは非常に少ない。要はコロナで影響を受けたところ、あるいは医療機関、医療への支援も、その現場の状況も分かった上で資金、財政的な支援もしていく。安倍総理も後で言っ

てくれましたけど、やっぱり両方見てくれて良かったなということですね。

橋本 なるほどね。経済とコロナの実際の対策と、別々にやるよりは一緒にやって、両方ともに対応できると。

西村 ええ、結果としては大変でした。両方から批判も受けましたが良かったのかなと思います。

橋本 最初は経済よりは、感染症対策がまず最初にきますよね。そうすると西村大臣の執務室に、まず厚労省の担当者が毎日来るわけですか。

西村 はい。コロナ対策室、その中に厚労省で結核感染症課長とかあった人がいるわけですね。そういう人を捕まえてはまず、ずっと1時間、2時間と毎日聞くと。それから、尾身先生、押谷先生という専門家の皆さん方も毎日1時間、2時間。

橋本 毎日ですか。

西村 毎日ずっと聞いて、私なりにコロナというのはどういうものなのか。感染症対策というのはどういうことをやっていくのか。そういうことを知ったわけですね。コロナ対策室は内閣官房に置かれて、つまり全体を

見なきゃいけないので。橋本 第1波、第2波っていうのはまだよく分からないときで、我々にしてもアルコールの消毒液は無いわ、マスクは無い、手袋も無い、その中で感染症の自身がこれは高齢者がかかりきつということ、意外と若い人がかかってもそんなに問題ないということも分かってきて、それで雰囲気が変わったと思うんですけども、それから第1波、第2波の後にGOTOトラベルがあって、かなり批判されました。担当大臣としては、あの時はまじまじなりましたか。

西村 はい。かいつまんでポイントだけお話しすると第1波は緊急事態で抑えた。第2波は大都市の繁華街から広がったということ。

橋本 ホストクラブとかね。

西村 繁華街対策で、繁華街でとにかく時短をやり、重点的にPCR検査の資源を繁華街に投入して抑え込んでいったんですね。釈迦に説法ですけど、一時的に検査を増やすと無症状の人も捕まえていきますからバツと増えるのですけれども、入院なり自宅療養していきますから、2週間ぐらいすると減っていくということも分かってきたので、とにかくまずは検査を増やせと。特に五大繁華街ですね。新宿、大阪ミナミ、それからすすきの、それと名古屋の栄、福岡中洲。この五大繁華街を徹底

的に検査をやりました。これで夏は抑え込んでいったのですね。その間、御指摘のようにいろいろなことが分かってきて、無症状の人がうつすというのがこのウィルスの一番の特徴です。さらに5人のうちの4人はうつさずに、1人だけうつす人がいると。

橋本 スペースプレッダー。西村 スプレッダーがいるとそれも発症の2日前にうつすこと。橋本 そうですね。発症の前から感染力がありますからね。西村 という非常に難しいウィルスだということも分かってきた。で、御指摘のように、若い人は比較的軽症が多い。ただ、高齢者あるいは基礎疾患がある人、あるいは肥満の人とかが厳しいとか、どんどん知見は蓄積されてきました。あとは当時の横倉日医会長とは頻りに意見交換をして今、おっしゃったように医療用のマスクは足りない、消毒液が足りない、ガウンが足りない。工業用のマスクは現場でほごりを吸わないようにN95と同じぐらいのがある、ガウンも工場に備蓄があるよという話を聞いてですね。経団連などをお願いをして、かなり数を集めました。経団連もすごく協力してくれました。それを随時経産省、厚労省を通じて必要とする病院に送りましたので、そういう意味で実は感染症対策

等、経済部局を両方見ているというのはいいい面もあったわけですね。西村 夏の波を超えた後、GOTOトラベルを、東京を除いて7月の20日からスタートしたこの間、実は9月、10月というのは増えなかったですね。これが専門家もよく分からないところなんですけど。橋本 グーンと減りましたね。西村 減ったんです。金沢とかにはすごい人が行っていたし、ソフトバンクが優勝したので、福岡にもすごい人が行っていたんですけども、それでも金沢も福岡も増えなかったですね。10月の下旬から北海道で増え出しましたね。これは早く寒くなるということがあろうと思うので、この頃からGOTOに対して批判が始めて、11月には大阪、札幌を除外し、これは経済界、観光業界からとにかく続けてほしいと。政権の中全体の雰囲気も、やっぱり経済も大事だというのがありましたので、実は私は割と早い段階でGOTOは一回止めなきゃいけないんじゃないかと。止めてもですね、これも釈迦に説法ですけども、今日対策を強化しても結果が出るのは2週間後ですから、11月の末頃に政権内でもかなり強く言ったのは、今やっても12月の半ばですよ、減るのは。橋本 そうですね。

(四面について)



(三面から)

西村 だからこれ、年末年始また医療が厳しくなる可能性があるから、早く止めないと12月の半ばに止めても1月まで増え続けますよということ、かなり私も政府内では強く主張したんですけど、残念ながら政権内、やっぱり経済との両立が大事だということ、これは去年、2020年の4月7日からの緊急事態で経済が3割、30%くらい落ちたわけですね。このときの経験であれだけ厳しいことはなかなかやれないという雰囲気がありました。年末から東京で1,000人を超え、1月2日に首都圏小池知事初め4人の知事が私のところに来て、緊急事態に動き出していくわけですね。

橋本 東京と地方と全然状況が違うと思うんですけど、知事会というのがそれを全部見通してお話されているのかな。

西村 そうですね。知事会が緊急事態を発出する基準と解除の基準とかです。もちろん地方と東京、大都市も差があるんですけども、一応の基準はまとめてくれます。それからオミクロン株になって感染者の数よりも医療の状況をより重視しようというところに、徐々に基準も変わっていった。ただ、最終判断は知事の権限で時短をやるとかできるわけですけども、残念ながらこういうときは国が方向性を出してくれないと、我々決まれない。だから、例の協力金の金額ですね。私はその範囲内で県で判断して、大きい店は5万円、小さい店は2万円ではないか。地方の判断で地域によって家賃も違うわけだからやってみようと言ったんですけども、どの県もやってくれないです。しょうがないので国が基準を決めて3万円から最大20万円まで支援するというようにしたのです。

橋本 アメリカなんか州によって対応が違うということ、分権しているからで、やっぱり日本は地方分権になっていない。

西村 そういうことですね。地方の権限をどんどん変えていく

と言いつつも、こういう話になると国が基準を決めてくれる。で、それから我々としては第4波がかなりきつかったのですね。病床の逼迫。

西村 関西がきつかったですね。

橋本 あの時自宅療養の、よく聞いたら保健所からの連絡が全部滞っちゃって、間に合わなくて悪化して亡くなっている。気の毒な例があったんですけども、患者さんを検査して陽性で届けたあと全部保健所任せなんです。全て保健所が入院しない、宿泊療養しない。でもそこへ行くまでに2日とか3日かかるわけなんです。

西村 そうですね。おっしゃるとおりですね。

橋本 それだったら臨床医が診て、これはもうすぐ入院せいで、やらせてくれたほうが良かったんじゃないかと。

西村 そうですね。そうした経験を踏まえて今回のオミクロンは特に無症状とか軽症の人が多いということもあって、例のみなし陽性も含めて医師のところで判断してもらおうというふう

に、これ第1波からそうですけども、とにかく保健所の負担をどう軽減するか、そもそも人数も少ないし、さらに手書きでやっていたところも含めて、電子化はしたいけども打ち込むのにまた手間がかかる。

橋本 今、明石は僕らがHER-SYS入力しています。

西村 それもすごい手間になりますよ。

橋本 すごく手間。

西村 これ特に東京都の例なんですけれども、東京都は保健所との連携が非常に悪かったのですね。我々も東京都の保健所長さんに集まってもらって、特に感染の多かった新宿とか渋谷とか港区とかで、尾身先生と私とスタッフ入れて厚労省の医系技官も来て一緒に議論するので、すけども、残念ながら東京都は知事が出てこないのです。そういうときに。

橋本 そうなのですか。

西村 ええ。こういう場面も何度かありましてですね。

橋本 何か調子悪かったときですか。

西村 ええ。まあそこはいろいろ理由はありますけれども、保健所設置をしている市と県が見ているところの連携の悪さですね。都道府県と。その後、厚労省も今も3,000人以上派遣できるスタッフを、IHEATという保健所に送る人材のプールを作って、大変なところに派遣をして、兵庫にも派遣をしたわけですね。けども、保健所がこんな大変になるというのはやっぱり想定していなかったのだと思います。

橋本 あと、先ほどから尾身先生の話が出たんですけど、ど



な方ですか。

西村 まず、WHOでの経験がありますね。そのときのスタッフに押谷さんがいたり、SARS、MERS、新型コロナを経験した数少ない人たちのスタッフを抱えているというのが大きい。それから、御自身も新型インフルエンザを経験された、これは大きな感染にはそれほど広がらなかったのですけれども。

橋本 2009年ですね。

西村 2009年の。このときの政府の当時、民主党政権の座長も務めておられたし、そういう意味では数少ない経験があるということ。私にとってよかったのは、行政のこと、政治のこととも理解をしてくれてですね。非常にお互いにお互いの立場を理解し合いながら、600日近くですね、ほぼ毎日休みの日もオンラインでやりとりしました。

た。感染症専門家の皆さんからの信頼も厚いですし、その意見を集約してもらいながら私も政府内の意見を集約して、尾身先生がいてくれたおかげで私は感染症の皆さんとこのコミュニケーションが取れたものと思っています。

橋本 その後、去年オリンピックもありましたですね。どのときが一番きつかったなという感想ですか。

西村 いや、もうそれはもうずっとこの600日間近くは毎晩、夜中目が覚めてというのはありましたし、湿疹が出るのです。もうこんな初めてですよ。

橋本 ストレスによる……。

西村 ストレス。それで、国会の中に診療所もあって薬もいろいろもらうんですけど、もう全然かゆみ止め効かなくてですね。ストレスだからしょうがないよ。私自身は心身ともにタフだというのは自負していましたが、やっぱり見えないうちにストレスあるんだなと。

橋本 僕らが記者会見のお顔を拝見しててね。ちょっとGOOTORABELの頃はかなり目がちよっとうつろな感じがしてい

た。

西村 ええ、あの頃もきつかったですね。最初の緊急事態から夏、新宿繁華街を抑えきって、秋落ち着いて、11月、12月でバツと増えて、年明けの緊急事態になっていくわけですね。それから春、大阪でアルファ株でバツと増えて自宅療養で亡くなったですね。オリンピックに向けて減ったと思ったら増えるというのを繰り返しましたから、あのオリンピックの前、尾身先生も当初から無観客だということを言われて、最終的に緊急事態になりましたので無観客ということになって。オリンピックが原因のクラスターは発生していませんし、海外から来た人もバブル方式で一定の行動範囲の中でやりましたから、それで広がったことはないです。見つけた人はいますが、クラスターはない。で、これは尾身さんも私もずっと言っていたのは、オリンピックで感動したからみんなで飲みに行こうって、スポーツバーとか夜中までやっている店があるわけですね。あのときは真面目にやっている店は8時で閉めて協力金もその時点で600万円まで月出すことにしていましたから、それでも居酒屋とかスポーツバーとか夜中までやっているところがあって、なかなか減らない。だから。

橋本 あれにつなげた。

(五面につづく)

(四面から)

西村 そうそう。金融機関にっ
ながっていかわけですね。

橋本 金融機関ね。私、メール
送らせてもらって、それ批判す
るんやったら代案を出すべきだ
と。

西村 そういことです。多く
の飲食店も心配になられたの
で、撤回はしましたけれども
おっしゃるとおり法律違反なの
ですからね。しかも融資まで引
上げるとか言うんじゃないかと
やっぱり法律を守りましょうね
と。感染対策やりましょうねと
いうことを言っていたんだけどら
いはできないのかなというのが
が。

橋本 私は全面的に西村さん支
援しますよとメールさし上げま
した。

西村 はい。ありがとうございます
ます。橋本先生初め、何人かの
方からそういった温かい激励の
言葉もいただいたので。

橋本 あとお伺いしたいのは
ね。医療側からの話に戻るの
ですけど、最初の第1波のときに
マスクとかアルコールが足らな
かった。それはいろいろ輸入し
ていた。その次にね。去年の
ワクチンなのです。ちょうど
7月に入った途端、ガタッ
と供給が減っちゃって。我々が
予約キャンセルさせてもらいま
すってこちらから電話をしまし
た。その際に河野さんが2回目

とっている分を、備蓄やって
おっしゃったでしょ。あれでみ
んなもう何、この人はって。河
野さんに対する批判は医療界で
はものすごく強かったですね。

西村 ファイザーとの関係でい
うと、その後飲み薬も開発をし
て、ワクチンの話もあるし、バー
ゲニング・パワーになるわけ
ですね。

例え話でいうとワクチンをご
れだけあれば、飲み薬のほう
はこれだけ日本は買おうよと
ね。そういう交渉はできるの
で。本当は厚労大臣がやったほうが
良かったんじゃないかと。菅さ
んは河野さんの突破力みたいな
ところを買われてやられたわけ
ですけれども。

橋本 菅さんの一存で決まっ
た。

西村 そうですね。菅総理の判
断ですね。あのときの経験が
あったから、厚労省はトラウマ
のようになって、去年の年末か
ら今年にかけて8カ月という
のを、本当は6カ月でも良かった
のは、また足らなくなるん
じゃないかという心配をして。

橋本 かえって結果としては。
西村 慎重になり過ぎて、その
分打つのが遅れた分、また感染
が1月、2月増えたという面は
ありますね。あのとき河野さん
は在庫・備蓄が全国あるんだよ

というのをずっと言っておられ
ましたですね。

橋本 でも、1回目したら必ず
2回目する。

西村 確かに3週間で2回目打
たなきゃいけないんだから、そ
れも確保していないと1回目打
てないわけですね。

橋本 我々としてはもうロジッ
スティックスのところ、いろい
ろ足を引っ張られて、その後も
去年、12月頃からいわゆる無料
の検査ね。チェーン薬局でやる
と。問題はそれが始まった途端
に、この2月頃ですかね。急に
検査キットが手に入らなくな
りますね。

西村 途中から増産はして余
た分は全部国が買い取るという
ことでやったわけですけど、早
くからやっておけば良かったで
すね。

橋本 やればいい
んですよ。数があ
れば。

西村 今回のオミ
クロン株で私も政
府に大分言ったの
ですけども、無症
状の人はただで
ずとやっていい
ということにな
ったので、殺到した
わけですね。

橋本 結局、そこ
で自分でやって陽
性になったら結局
医療機関行きなさ
いますので、おっしゃるよう
に軽症の人が多くて重症化しな
い。基礎疾患ある人とか高齢者
だけしっかりケアしておけば
ですね。ワクチンも4回目はそ
うでいいんじゃないかと
か、あるいは検査体制も頻繁に
高齢者施設などでやっていく
かなり抑えられるんじゃないか
という期待感と、今両にらみ
ですね。それと飲み薬も塩野義
ものがかなり手軽に手に入って
くればですね。これは厳しい措
置をやらなくともいけるの
という、まだ両にらみの状況
ですね。

橋本 状況がまだ流動的
ですか、なかなか結論をポ
ンと言えないで、あとも3
月で参議院選挙ですね。

西村 そうですね。みんな心
配しているのは、5月の連休
でまだ活動が活発になって
きて、そこから2週間後、5
月の下旬から6月にかけて増
える参議院選挙直前になりま
すから、これは心配をしていま
す。それがも数が増える
んじゃないかと。重症化
しないかと。

西村 そうですね。政府と
野党、携してやっています
けれども、1つは今後新たな
変異株が出るかどうかとい
うところを見極めて
いますね。

橋本 今、BA.2が。
西村 BA.2もそんなに重症
化はしなさそうですけど、
また別の新たな株も言われ
たりして

西村 で、自分隔離される
のは嫌だからって行かない
人も出ると。

橋本 そうですね。我々
として最初のアルコールとか
マスクの不足から、それから
次のワクチンの不足、今回は
検査キットの不足、もうロジ
スティックスのところをも
うちょっとしっかりしてほ
しいかと、これは今言わ
れている経済安全保障にか
かる部分だと思つたので
ね。

西村 そうですね。大分
時間も来ているので、今現在
、西村代議士は清和会の事務
局長されて党の中心におられ
る現在のこの感染状況ですが
、確かに検査も大分増えて
、うちらなんか若い人が多い
ので、ほとんど軽症なんです
ね。今のところ明石市内でも
病床は逼迫全くないという
話で、これから第7波という
話になるけれども、増えたら
またまん延防止とかいう話も
出ているように、党内でも
そこら辺の議論はど
うなっていますか。

西村 そうですね。政府
と野党、携してやっています
けれども、1つは今後新たな
変異株が出るかどうかとい
うところを見極めて
いますね。

橋本 今、BA.2が。
西村 BA.2もそんなに重症
化はしなさそうですけど、
また別の新たな株も言われ
たりして

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障もそう
です。うちの娘たち見ても
大学入学したいけれども、
ずっとオンラインで友達も
できなかったり。海外に留
学しようという子が行
けずに結局オンラインだけ
卒業したりですね。本来は
仕事をいろいろな経験積
みながらキャリアを積んで
いくところが多かったり
。全体で見るとやっぱり
実体験で経験を積んで
いく部分が少なくな
っていますから、これをどう
取り戻していくかという
のは非常に大事な
ことですね。欧米はもう
ほぼ規制を緩和して、中
国ぐらいです。今、厳
しくやっているのは、
韓国もあれだけ出ても
また緩和するという
方向です。

西村 そうですね。学校
なんか厳しい制限さ
れているから本当にか
わいそうですね。こん
なの2年も3年も続
けてたら本当によくない
ですね。

西村 そうですね。若い
人の教育と交流の場
を全部奪っちゃって
ます。これは長期的に
問題じゃないのかな。
特に出生数がガ
タッと減っちゃって、
これは結婚をされる
方の数が減ったから
で、そこら辺は10年
、20年先を見て
いたいただきたい
な僕も思う
のです。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

西村 そうですね。子供
たちの学びの保障も
そうです。うちの
娘たち見ても大学
入学したいけれど
、ずっとオンライン
で友達もできな
かったり。海外に
留学しようとい
う子が行けず
に結局オンライン
だけで卒業したり
ですね。本来は
仕事をいろいろな
経験積みながら
キャリアを積んで
いくところが多
かったり。全体
で見るとやはり
実体験で経験を
積んでいく部分
が少なくなっ
ていますから、
これをどう取り
戻していくか
というのは非常
に大事なことで
す。欧米はもう
ほぼ規制を緩和
して、中国ぐ
らいです。今、
厳しくやって
いるのは、韓国
もあれだけ出
てもまた緩和
するという方向
です。

兵庫県医師連盟 ホームページ



医師連盟の主張や意見の広場、郡市区医師連盟の活動などを掲載し、随時内容を更新しています。

兵庫県医師連盟

検索

<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>

(五面から)
橋本 今は第6波で致死率だけ見たら、季節性のインフルエンザと変わらないぐらいまでなりつつ人口割の死亡者の率で見たら、日本はアメリカや欧米に比べると一桁少ない。
西村 圧倒的に少ないですね。
橋本 少ないですよ。それ見たら日本の対策ってすごい成功していると思うんですけど、医療側も必要な人の受入れに関して、欧米とほとんど引けをとっていないのにメディアが物すごく厳しくバッシングしますよね。
西村 そうですね。やっぱり医療体制、医師会の皆さんも献身的にやっていたらいいですね。そのおかげでここまで死者の数を少なくできていますから、国際比較は正当にやっています。

ただけたらと思いますし。
橋本 思いますね。
西村 一言、医師会の皆さんにこれは感謝しないのではありません、感染リスクを抱えながらも、マスクも消毒液もガウンもない中でも献身的に治療に当たられましたし、発熱外来も受けられました。あるいはワクチン接種も休日返上でやられ、さらには小さな病院でも何人が受入れられるところもあるし、看護師さんを派遣されているところも、あるいは自宅療養の方を診察されている方もある、様々な形でやれるところを対応してこられたことを本当に感謝申し上げたいと思います。やっぱり医師会の皆さんの御尽力あったからだと。引き続き、またよろしく願いします。

自民党兵庫県連 各種友好団体との 政策要望に係る意見交換会



松本委員長、橋本常任執行委員、大門執行委員

長、橋本常任執行委員、大門執行委員、事務局1名が出席した。
 開会にあたり大前はるよ自民党兵庫県健康福祉部会長、松本卓兵庫県医師連盟委員長から挨拶を頂き、続いて県医師会からの要望(1事項)に対する回答、懇談が行われた。
 新生児サイトメガロウイルス感染スクリーニングの導入について回答

令和4年3月18日(金)午後2時から県庁3号館6階の第5委員会室において、令和3年7月8日に県医師会から出された令和4年度県予算編成に対する要望の回答と懇談会が開催された。
 自民党県議団からは、石川憲幸(丹波市)、大谷かんすけ(尼崎市)、風早いさお(宝塚市)、門間雄司(豊岡市)、北川泰寿(西宮市)、北野美(姫路市)、黒川治(尼崎市)、五島壮一郎(姫路市)、関口正人(三田市)、橋秀太郎(美方郡)、浜田知昭(洲本市)、福島茂利(兵庫区)、藤原昭二(小野市)、松井重樹(たつの市・揖保郡)の総勢17名、県医師連盟からは、松本卓委員長



大前はるよ自民党県議団健康福祉部会長

厚生労働科学研究として「先天性サイトメガロウイルス感染症対策のための妊婦教育の効果の検討、等」が平成25年に公表されて以来、その後の研究成果、早期発見・早期治療になる対策にも注目しており、今後、費用対効果や各種法令等の適用も含め、研究に対する支援について検討していく。

郡市医師連盟だより

〔尼崎市医師連盟〕

尼崎市医師会の重要な行事として、毎年7月後半から8月始めにかけて尼崎市長への要望書を提出しています。会長及び3名の副会長とともに市長室に赴き、要望書を提出したうえで、地域医療の充実や連携体制の構築などについてざくばらんに懇談し、市政とのよい関係は築けていると思います。このコロナ禍の中で、市民病院を持たない尼崎市にとって、保健所と医師会が協力体制を取れたことは、ひとえに今までの良好な関係に基づくものと考えています。また、要望書に関しては尼崎市医師連盟推薦の市議会議員とも懇談会を持ち、市議会との協力関係を維持することとしていきます。今年は尼崎市長選挙の年でもあり、尼崎市医師連盟としても、次期市長との協力関係が維持できるよう応援させていただくことが必要になると考えています。
 また今年は参議院選挙の年でもありました。公示前でしたが、兵庫選挙区の立候補予定者である自民党現職閣僚である末松信介氏と公明党現職の伊藤たかえ氏の応援のために選挙事務所に出向きました。檄文と推薦料を手渡しし、尼崎市医師連盟として精一杯応援することをお伝え

してまいりました。7月5日には日本医師会組織内候補として立候補された自見はなこ氏の選挙カーが兵庫県に來られ、朝の9時の阪急塚口駅での応援演説を皮切りに西へ向かってスタートされましたので、尼崎市医師連盟として精一杯の応援をさせていただきました。尼崎市医師連盟推薦市議会議員である岸田光広氏、兵庫県議会議員である黒川治氏、参議院議員である加田裕之氏が駆けつけてくださり、駅前ロータリーで雨の降る中を熱のこもった応援ができたと思います。末松信介氏、伊藤たかえ氏、自見はなこ氏のご当選を心よりお慶び申し上げます。
 尼崎市医師連盟 委員長
 杉原加壽子



伊藤たかえ事務所



末松信介事務所



自見はなこ応援演説(塚口駅前)